

第4回宝塚市議会意見交換会記録 第2部

※ この記録は、市民発言者と議員の意見交換の様子について、書記として参加した議員が記録したものを元に作成しています。

テーマ「観光・商工について」

①宝塚市の観光の目玉とは？継続できる観光、集客の秘策は？

- 市民 宝塚の観光は、市民の目線からは低迷しているように見える。観光の目玉はあるのか。集客の秘策について提案する。
1. 宝塚の観光の目玉は何か。
宝塚歌劇・手塚治虫記念館・清荒神などの神社仏閣・小浜宿など。
 2. 発展のために継続できるものは何か。
ナチュラルスパなど。
 3. ファミリーランドの代わりに、集約できるスポットは何か。
今は、子供たちのスポットがなく、近隣に連れて行っている。ガーデンフィールズ跡地は家族連れのための文化芸術のスポットとなるか。
宝塚の社会資源は、主に二つ。宝塚歌劇と手塚治虫氏。この2大資源をいかに活用するかがキーポイント。アイデアが必要と考える。
東京は人口1300万人、日本の人口が東京に集中するのは、情報が東京に集中するから。
宝塚も何かで人を集めて、集客率を上げる必要がある。宝塚には手塚治虫記念館があるので、宝塚をアニメと漫画の一大情報発信拠点にして「夢のある宝塚というまち」をめざしてはどうか。
アニメ街ができれば、世界各地からコスプレイヤーが訪れる。手塚作品にも「リボンの騎士」があり、本市ではコスプレイヤーの集いを開催したこともある。「リボンの騎士」を観光大使にしているのもその一つ。小林一三氏がつくった考え方に賛同して、原点回帰として宝塚の再生を考えられたらよいのではないか。
アニメに特化した思考を持つアニメーターを養成する学校を誘致する、あるいは、宝塚大学のアニメ学部のような学校を誘致するなど、世界に発信できる宝塚を考えていただきたい。

- 議員 ご提案の内容は、行政だけではなく、民間と公的な役割の中で、ともに成しえることだと思う。観光の目玉については、宝塚歌劇と手塚治虫記念館、温泉もあり、今後はガーデンフィールズ跡地も集客拠点となる。

宝塚市でも東日本大震災の翌年からアニメフェスタを毎年実施してきており、現在その規模は拡大中である。ただ、コスプレフェスタを開催しているが、手塚漫画とは少し違うと考える。コスプレーヤーと手塚漫画の融合には難しいところがある。

今年は、地方創生加速化交付金をとることができたので、従来の予算に上乗せをしてさらに大きな規模のアニメフェスタやハロウィンイベントを逆瀬川と宝塚エリアで行おうとしている。

議員 何をするのも、スペースが必要。ガーデンフィールズ跡地利活用については、「絵本」がテーマのようなので少し市民発言者のご提案とは異なると思われる。先日、ガーデンフィールズの跡地について、議会への説明があった。子育てのための一大拠点としてするという話だった。絵本を中心とした文化芸術の建物をたてて、集客はどうか。宝塚市立手塚治虫記念館の集客状況では、収支は厳しい。次々と新しい作品をつくっているジブリのように、うまくはいかない。しかし、手塚氏の作品は、アニメの原点。コンテンツをいかにしていくかを考えたい。

②観光資源をどう生かし、商工業の衰退に歯止めをかける方策とは

市民 宝塚市は国際観光都市であるが、宝塚ファミリーランドが閉園となって以来、観光産業に大きな影響を与えた。

それでも年間約836万人もの観光客が訪れている。

しかしながら、震災等の影響により宿泊施設は宝塚ホテルと島家（宝塚ワシントンホテル）に限定され、宿泊客数は年間約14万7千人である。98%は日帰り客である。

未だに歌劇と温泉の街という印象が残っているが、それ以外に清荒神、中山寺、売布神社などの社寺仏閣、昨年度環境省から日本の里山に認定された西谷地区などがあり、他の自治体からも羨ましがられている。

また、娯楽施設としてはG1レースなども開催される阪神競馬場や10カ所のゴルフ場などもある。

ただ、残念なことは宝塚市を訪れる観光客は、1つの場所にしか行かず、複数の場所を訪れないことである。そのために地域の経済効果は限定的である。

また、ガーデンフィールズが閉園となり、その跡地に35億円もお金をかけて、ギャラリー等をつくるということを聞いている。

新しいものをつくることも大切だが、植物園として長く親しまれた場所と、隣接する手塚治虫記念館を一体化させ「100年の森」として貴重な自然と歴史や

文化を継承してこそ、どこにもない希少価値のある観光施設となるのではないか。
他市のコンサルや有識者の意見より、地元の意見に耳を傾けるべき。
また、道路、街路等のインフラを整備しなければ、観光客の誘致はできない。
これは市民の願いでもある。

議員 宝塚ガーデンフィールズ跡地の計画は疑問視している。
手塚治虫氏の漫画は「平和」という哲学を伝えるための手段だったのではと考
えている。
確かに日帰り客ばかりである。
高知県への視察時に「竜馬」を大きく取り上げたイベントを、県を挙げて開催
していた。
大いに盛り上がっていたが、それでも年間観光客数は450万人である。
そう考えると800万人もが訪れてくれるのはありがたいことである。
宝塚市の場合、歌劇に約100万人、清荒神に約300万人、中山寺に約10
0万人も訪れているが、その方たちにどのように宝塚市を回遊して、お金を落と
してもらえるかが最大の課題だと考える。
最近の市の取り組みの中で囲碁の世界大会「ジャパン碁コンGRESS」が成功を
収めており、世界各国の富裕層が宝塚市に多くのお金を落としてくれた。

議員 宝塚市には経産省から役人が来ていたが、その方も「宝塚には素晴らしいコン
テンツがたくさんあるのにもったいないなあ」と言っていた。
最近ではアジアからの観光客も若干増加し、すこし回復している。
宝塚市を訪れる観光客の特徴としては、リピーターが多いことである。
宝塚ガーデンフィールズ跡地に関しては、以前、小林一三氏が目指していた「家
族みんなが楽しめるまち」というコンセプトを復活させる時代がまたやって来た
と思う。
歌劇だけでなく、歴史的建造物、木接太夫などいろいろあるが、
私は近畿でも最も古い前方後円墳「長尾山古墳」をもっと観光スポットにするべ
きではないかと考えている。

③政府4000万人観光客誘致に沿って今後あるべき宝塚市の将来

市民 政府は2020年のオリンピックの春までに「4000万人観光客誘致」を宣言
している。すでに海外からの来日客は昨年までに1970万人と政府の予測を上
回る。このタイミングを利用し宝塚市全体の活性化、利益共同体を目指すべき。

特に日本人は外圧によらなければ体質が変わらない傾向が強く、明治維新、日露戦争、太平洋戦争、ＡＢＣＤ包囲網など、すべてそうだ。

政府がやろうと言っているのに、なぜ、もっと市は考えないのか。

どうしたら儲かるのか。小林一三氏もそうだったと思う。国が借金をしている状態、地方交付税を減らされるに決まっているのだから、自分たちで稼ぐようにするしかない。

アニメの手塚治虫記念館も中途半端である。海外からの観光客は、日本のアニメから日本語を学び、憧れをもって来日している。ここに来ないとアニメのルーツがわからないという仕掛けづくりが必要。

また、ＡＫＢ４８などが来るような小劇場などをつくるべきでは。「ＴＫＢ４８」くらい考えてここを本家とする。

アニメ、ガーデンフィールズ等バラバラになっている。花のみちから手塚治虫記念館まで歩道橋をつくるぐらいせよ。

ガーデンフィールズ跡地については、美術館をつくって儲かるのか。私だったらホテルを建てる。全国的に宿泊施設が不足している。２０３０年には２万６千室が不足する。またホテルの屋上に和風の風呂をつくるとよい。

社寺については、清荒神の参道を歩いて往復すれば「福」がもらえると昔は言っていた。参道をもっと歩くことが大切。そうしたらお金も落としてくれる。清荒神や中山寺をもっとＰＲすべき。門戸厄神を入れてもいい。日本人だけを相手にしてはダメ。

宝塚は「宝の塚」。トレジャーアイランドシティとか、ペットネームくらいつけてはどうか。

「宝塚」をもっと宣伝していき、いろんな政策をしているが「一人のデレクター」を置いていくしかない。バラバラになっている。

議員 私もかねてよりデレクターの必要性を主張してきた。清荒神参道は可能性を秘めたスポットであり、私も期待している。

④今津線沿線の歴史的建造物の日本遺産登録による観光客増大の件

市民 ボランティアで建造物保存のＮＰＯに参加している。宝塚ホテルの保存運動に小学校区のまち協を通じて参加している。尼崎市では尼崎城を１０億円かけて再建する。予定では鉄筋を使うので、日本遺産の対象にはならないが、本市も日本遺産で人を呼ぶということをしてほしい。

川の財産があればラフティングやボート遊びができる。

観光地が点でしかない。それぞれの相乗効果が必要。

映画になった阪急電車、趣がある地域。

葉刈りごみを有効利用したチップを使う市民農園もあり、農業のすばらしさが宝塚市でわかる。山あり、川ありで、上手に活用してほしい。

いろいろと移り住んだが、他市と比べて宝塚市は非常に住みやすい。

学識経験者と地域の人からなる「日本遺産登録検討会」をつくってほしい。全部で100のうち、まだ65が決まっていない。

宝塚の阪急今津線沿線には、歴史的建造物がたくさんある。小林聖心女子学院、宝塚市役所、宝塚ゴルフ倶楽部、宝塚カトリック教会、宝塚ホテル。これらを日本遺産に登録できないか。これらを結びつけると楽しいストーリーができるはず。また、宝塚線沿線には正司邸などもある。大正・昭和モダニズムの建造物群を推奨する。市に元気が出るし、近隣の西宮市と連携すればよい。大切なのは「ストーリー性」。建造物だけでなく伝承を集めなければならない。たとえ登録ができずとも、人を呼べるストーリーを紡ぐことができる。

日本遺産を目当てに来てくれた観光客に、市民は接待してほしい。

宝塚市だけでなく、他市と連携して、また県も動かして日本遺産を取得するようにしてほしい。

議員 兵庫県では、日本遺産は2カ所。平成27年に丹波篠山デカンショ節。平成28年に国生みの島・淡路。日本遺産登録には3つの条件がある。その中でもストーリー性が阪急今津線沿線だけでは、少し難しいのではないか。淡路やデカンショはストーリーが作りやすい。宝塚市だけではストーリーが作りにくいのか。

市民 行政等だけでなく、検討委員会には市民に入って検討してもらおうべき。

議員 日本遺産で考えると難しい。「集客するためには」と考えるとよい方向に動くと思う。観光地すべてが点であり、単発で終わってしまっている。日本遺産登録を目指すことで市も勉強できるだろう。

議員 ハードルが高い。宝塚市として盛り上げていくには非常によいこと。

市民 六甲山ホテルも宝塚ホテルを設計した古塚氏の作品。文化庁が京都にやってくる。関西の文化が見直されると思う。よい時期だ。